

## 平成21年度 第1回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会

日時 : 平成21年9月28日(月) 午後1時30分～午後3時

場所 : 市役所第5会議室

出席委員: 勝亦祐貴・志水香苗・神保久美子・前田慶子・山崎喜三・渡邊恵子・日比野和代・勝亦敦志・勝間田たき子・近藤八重子・沓間捷・湯山有朋・野木裕次・杉山泰芳・宇田川寿夫・野木純生・横山秋好・斎藤公夫

事務局 : 内田課長・瀬戸補佐・西山副主任・勝又主事

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 あいさつ

地域振興課長よりあいさつ

### 4 委員自己紹介

### 5 協議会役員の選任について

事務局より役員(案)について説明。

会長: 渡邊恵子

副会長: 神保久美子・沓間捷

監事: 志水香苗・杉山泰芳

※一同より了承を得る。

### 6 協議事項について

#### (1) 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会の進め方について

資料P4・5より事務局が説明

委員D: 市民協働補助金事業について、現在の予算の範囲内で事業を募集するやり方ではなく、予算編成前に次年度の事業を募集して、その応募の状況により予算を要望するというやり方はできないのか。今年度はこのように募集時期についても検討してほしい。

事務局：他市はそのように募集をかけてから予算を決めるところもあるが、御殿場市は現状のやり方で応募も多数あるので、しばらくは現状のままでよいのではないか。

委員D：現状では予算内でできる限りの交付となってしまう、取ってきた予算を消化するようなやり方になってしまっている。今すぐに、変更は難しいと思うけど、もっと良い手法があるかもという意識をしてほしい。

委員F：平成21年度の補助金事業は応募してきた団体に「市民協働」というものを理解してもらうのも含めて交付をした。推進という意味では良かったのではないか。

事務局：もちろん、補助金交付の手法については意識している。今年度の協議会では、その辺りも含めて協議していきたい。

委員F：9月から新たに委嘱された委員には、平成21年度の補助金事業はどのようなものがあるか資料は配布されているのか。

委員Q：今年度の審査した委員にも、交付決定した事業がその後どうなったか分かる資料がほしい。これから実施する事業もたくさんあると思う。

また、協議会の意見を予算編成時に反映することはできないのか。

事務局：新たな委員にも、審査をした委員にも資料を早急にまとめ、送付したいと思います。

協議会の意見を予算に反映させるかは今後検討していきたい。また、次年度は第1回協議会をもっと早くに開催していきたいと思っている。

委員D：2月に新しい市長に変わったが、今の市長は市民協働についてどのように考えているかを聞きたい。時間が取れるのであれば、この協議会で意見を述べてほしい。

事務局：事務局側でもまだ市長の意見は聞いていない。今後、話し合いの場をできる限り作していきたい。

委員D：御殿場市は概念としての市民協働はあるが、事業として市民協働を実施していかなければならないと思う。現在、事業を計画し実施するところまでは行っているが、協議会がその事業を協働としてどうだったか評価をしなくてはいけないと思う。団体と行政各課の間に入り

第3者としての事業評価が必要なのではないか。

事務局：団体と行政は事業の評価をお互いしてきている。今後はその協議会でも評価をしていきたい。

委員M：本来予算というのは、先ほど前田さんが述べたように募集をかけてこれだけの応募があったから予算をくださいというものである。しかし、時期の問題もありなかなか難しい面もある。この協議会で皆さんの意見を聞いて補助金事業の募集について検討していけばよいのではないか。

委員D：資料の中のスケジュールのように、協議会だけで検討するのではなく、分科会等も開く必要があるのではないか。

事務局：次回の協議会ではこの補助金事業募集についてより具体的に案を作成して開催したい。

(2) 平成21年度御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会予算書について  
資料P6より事務局が説明

委員Q：支出の部分をもっと具体的に説明してほしい。例えば、大会開催費等はどのような大会に参加するのかなど。

事務局：昨年度は静岡県でNPO推進フォーラムが開催され、協議会でバスを出し参加した。今年度はまだ、参加する大会が決まっていないが、同じように参考になるような大会等に参加したい。

(3) 「元気わくわくごてんばフェスタ2009」について

資料（案内図・チラシ等）により事務局が説明

委員E：9月26日に実施された「ふれあい広場」より参加団体数が少ないと思われるが、もっと市民活動団体はあるのではないか。また、インターネットに「わくわく」について検索したが載っていなかった。このイベントは見る・聴くイベントは多いが体験するイベントが少ないと思えた。その辺りはどうなっているのか。

委員J：ふれあい広場は参加にあたって条件等なく、福祉関係の団体だけではなく、そのサポート団体まで出展していて数が多くなっている。

事務局：この実施時期には、他にもイベントが実施されており、同日には青少年交流で実施するイベントもあり、団体が重なってしまい、少な

くなってしまった。インターネットについては今日申請したので、明日には市のホームページに掲載されると思う。この他の広報についても市民の参加を促進するよう、「広報ごてんば」「各区への回覧依頼」「幼稚園・保育園・小学校への配布」等実施していきっている。十分周知されていると思う。

委員D：インフルエンザ対策はどうなっている。

事務局：交流センターの指定管理者の方で各場所に消毒液を用意している。

また、協力していただける委員様につきましてはマスク等を各自で持参していただきたい。

## 7 閉会